**特定非営利活動法人ビーポップ**

**2021年度（令和3年度）事業計画**

**【概観】**

2021年度は、20周年という大きな節目を迎える。多くの人との出会いがあり、楽しい時間を共有し、たくさんの協力や支援のもと迎えることができた20年である。

社会的な混乱の中、自由が制限/制約されることも多く、ビーポップの活動もやや精彩に欠ける感が否めない。しかし安定した日常のために活動の継続を希望される声も多く、リスクマネジメントをしっかり行い、より楽しい方向への熱量は維持していきたい。安定した日常の回復とその先を見据えて、今年度も「余暇支援の充実」を柱として活動する。

コロナ禍において、職場や家庭での生きづらさを多く耳にするようになった。潜在的な困難が社会情勢の悪化と共に露呈したと考えられる。ビーポップの理念である「たのしいことしかしない」も、しっかりとした生活基盤があることが前提である。「たのしいこと」にたどり着くための支援、緊急対応のニーズにも応えていきたい。

　人材育成においては、コミュニケーションをより大切にし、定着してきている非常勤職員のスキルアップや個性を発揮できる場面を作っていく。具体的には、プログラムづくりやイベントの企画にも積極的に関わっていただき、そこから広がっていく楽しさ、可能性も探っていきたい。さらに職員の『働き方』についても、育児休暇、介護休暇を含む柔軟性のある働き方の導入を検討・試みてみたいと考える。

　財政面については、会計士、税理士等、専門家の意見も聞きながら、安定した活動を目指す。

**【障害児・者の一時預かり及び余暇支援事業】**

例年どおり「放課後等デイサービス事業」・各市における「障害児・者生活サポート事業」を主な制度活用としていく。利用者のニーズに耳を傾け、「余暇支援事業」の充実を図っていく。

また、2020年度から始まった「ニコニコランラン」は今年度から定期的に開催をしていく。

**【広報及び活動還元】**

　　　前年度同様「ビーポップ・ニュース」を月1回のペースで発行する。イベント等のお知らせにとどまらず、活動の様子や考え方などを伝える機会にもなっている。また、20周年を迎えるにあたり、寄稿記事を募るなど内容についても検討し取り組んでいく。

さらに、会員の方からも、「夢」や「やりたいことの希望」を募り、活動に反映させることができたら、より楽しいと考える。

**【障害福祉サービス等】**

「移動支援」「福祉有償運送サービス」については、今年度も継続していく。しかしながら、車両の老朽化が目立ってきている。「送迎/移動」のニーズに応えていくために車両の確保が急務である。そして引き続き、運転者・移動支援資格保持者の確保努力をしていく。円滑で安全なサービス提供を目指す。

**【福祉分野に関わる研修・啓発等の事業】**

オンライン開催で、講習等受けやすくなったことを受け、より積極的に研修を受けるよう推奨していく。個々人の裁量によるところが大きくなってくる部分ではあるが、幅広いスキルアップ・情報の収集を目的として、スタッフにおいては研修を「必須業務」と位置づけたい。。

また、事業・運営上で必須となる講習等についても情報収集を徹底し、確実な受講に努める。

**【障害者の社会参加をすすめる会と共同する事業】**

・Dream　December

楽しみにされている方も多くいるイベントである。開催を慎重に検討していく。

　　・学習会、イベント企画

　　　状況を見ながらではあるが、幅広い方々を対象とし、福祉の発展、「楽しさ」の追求などを自由な形で考えていくための学習会、イベントの企画を共同で行っていく。

**【その他の事業】**

・緊急時の対応

　これまでも、レスパイトとしての緊急時の対応を行ってきたが、各家庭の不安、希望などもさらに多く寄せられている。制度の枠にとらわれない、できる限りの支援を行えるようより充実させていきたい。

・ゆめ風基金

　被災地の困難を風化させることなく募金活動の継続を行っていく。

・実習の受け入れ

　すでに要望があり、2021年度も社会福祉士相談援助実習の受け入れが決まっている。